別紙様式（B4横型）

平成３１年度　学校自己評価表　（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校番号 52

福岡県立筑前高等学校長　　印

（その1）

学校運営計画（４月）			評価（３月）
学校運営方針	創立４０周年を機に、伝統校としての基盤をつくる （１）　校訓「生きる希望　学ぶ喜び」を達成することを基軸とした生徒の育成 （２）　知性と感性を磨き、文武両道にわたって努力する生徒の育成 （３）　豊かな情操と広い視野を持ち、国際色豊かな生徒の育成		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度は、生徒の多様性としなやかさを高めることをスローガンに取り組んだ結果、様々な場面で多様性に心を開く生徒の姿が見られた。 一方で、小さな躓きから立ち直れない生徒も少なからずいる。さらに、生徒の自尊感情を高め、何事にもチャレンジする学校づくりを進める。	１．学力の向上	主体的・対話的で深い学びを進めるために、ICTを活用する等の授業改革に努める。言語活動充実のために「筑前レクチュール」を実施する。	
	２．人権意識の向上	「人権が尊重される学校づくり」を全職員で目指す。教師のカウンセリングマインドを向上させ、生徒の自尊感情を高め、仲間づくりのための取組を進める。	
	３．心身の健康の増進	学ぶ意欲や気力の充実にも深く関わる健康・体力、豊かな情操や自尊感情、心のしなやかさ・回復力（レジリエンス）を増進させる。	
	４．生徒･保護者から信頼され、地域に貢献する学校	生徒の学校満足度を高めるために実態把握をし、保護者・生徒に信頼される学校づくりを行う。学校・教職員から自らの取組やメッセージを発信する。また、継続的に行っている地域ボランティアや介護施設訪問などを進め、地域に貢献する。	

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価(3月)			次年度の主な課題
教務部	教務課	基本的生活習慣と授業の充実	出席率向上のため、カウンセリングマインドとチーム支援を強化する。				
			問題を抱えた生徒の早期発見と初期対応を迅速に行う。				
			ＩＣＴやアクティブ・ラーニングを交えた活気ある授業を行う。				
			学習時間調査を実施し、スマホ使用時間管理と自主的家庭学習を推進する。				
		新たな視野の展開	総探・総学の「筑前レクチュール活動」および課題研究の動向を見極める。				
			思考力・表現力向上のために、定期考査への論述問題等導入を確実にする。				
			外国語教育において、４技能統合型の授業を展開する。				
			新学習指導要領に基づいてカリキュラムマネジメント（案作成）を開始する。				
	企画広報課	広報活動の充実	進路相談事業・ＰＴＡ中学校訪問等での説明内容を充実させる。				
			学校の特色を明確にして全職員が共通認識を持って学校をアピールする。				
		式典等の円滑な運営	教頭、主幹等と連携して式典等を企画・実施する。				
			ＰＴＡ・同窓会との連絡・調整および連携の強化に努める。				
	図書課	活発な図書館活動	適切な選書や新着図書案内等を通して、生徒の読書意識を高める。				
			読書会や広報誌「ＷＡＶＥ」発行等の生徒会図書委員会活動を指導及び支援する。				
		読書意識の涵養と、芸術文化活動への取組	「筑前レクチュール活動」の基本となる、朝読を計画・推進する。				
			芸術鑑賞（音楽鑑賞）を企画・運営し、生徒の豊かな情操を育む。				
生徒指導部	生徒課	社会性、道徳性を身につけた生徒の育成	職員研修と教職員間の情報交換によるいじめの未然防止を推進する。				
			年に５回以上登校指導を実施し、交通ルールや通学マナー等に関する意識を高める。				
			教育活動全体をとおした、いじめ防止に向けた指導を推進する。				
			自分と他者を大切にする心と、自らを律する自己指導能力を育成する。				
		自己管理能力、自主性・自発性の育成	緊急時の対応能力及び危機回避能力を育成する。				
			生徒会執行部を中心として各学校行事を運営し、生徒の積極的参加を促す。				
			地域の行事へ積極的に参加させるとともに、広報活動を活性化する。				
			情報教育をとおした、情報モラルに関する指導を推進する。				
	保健課	健康教育の推進	健康状態を把握し、自主的・主体的に健康の保持増進をおこなうことができる資質や能力を育成する。				
			不安や悩みを抱える生徒に対して、問題解決に向けての支援を行う。				
		生徒支援体制の充実	個別指導を重視し、職員間の連携を図り、情報を共有しながら組織的に指導する。				
			特別な支援が必要な生徒について、各学年を通じて実態把握をし、具体的な支援方法を検討する。				
	環境課	校内の環境整備及び美化	美しく磨かれた校内にするため、美化意識向上の呼びかけを積極的に行う。				
			美化委員会を活発化させ、生徒が自ら美化活動に励むような体制を作る。				
		地域ボランティアの充実	清掃活動にとどまらず、周船寺川の環境を守る活動も積極的に行う。				
			地域の方々と連絡をとり、地域に密着した活動として貢献できる活動にする。				

別紙様式（B4横型）

平成３１年度　学校自己評価表　（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校番号 52

福岡県立筑前高等学校長　　印

（その2）

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
進路指導部	進路課	生徒の進路実現に向けた、組織的・計画的な進路指導	生徒のニーズにあった進路講演会の企画や、積極的なオープンキャンパス参加を促す。				
			英語における４技能検定試験（英検、ＧＴＥＣ等）への取組を推進する。				
			大学入学共通テストに対応できる進路指導の研究・実践と、情報収集を行う。				
			調査書の変更に伴い、生徒の活動実績等の電子データ化（ポートフォリオ等）に取り組む。				
		高い志を育成し、第一志望を実現させる進路指導	国公立大学のＡＯ・推薦入試を意識させた指導を組織的に推進する。				
			教科・学年での模試分析会議を行い、授業改善に生かす。				
			生徒理解に基づき、実情に即した面談・個別指導を丁寧に繰り返す。（学びの基礎診断等の活用）				
			小論文・面接指導を充実させ、読解力・思考力を涵養する。				
	情報教育課	ＩＣＴ機器を利用した効果的教育活動の推進	電子黒板やプロジェクタを積極的に活用し、ＩＣＴ機器の有効利用を考える。				
			相互授業参観時に、ＩＣＴ機器を使用した授業の実施を奨励する。				
		ネットワークを利用した校務の効率化	学校ﾎﾟｰﾀﾙｻｲﾄの利用や文書のＰＤＦ化を推進し、ペーパーレス化を促進する。				
			CMSを導入し、全職員が学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを利用した情報発信ができるようにする。				
研修部	研修課	「主体的・対話的で深い学び」に向けたＡＬ型授業実施の取組み	授業研究週間を設け、研究授業を実施し、得られた成果を授業改革に生かす。				
			相互授業参観期間を設け、活発に参観できるよう工夫する。				
			授業アンケートを実施し、その結果を授業改革に生かす。				
		校内職員研修の充実	ＡＬ的手法について学び、ＩＣＴの活用を進めるための研修を企画実施する。				
			カウンセリングマインドに関する研修を企画し、継続的に実施する。				
			他分掌と連携して、教育課題に対応した、タイムリーな研修を企画実施する。				
学年	１学年	基本的生活習慣の確立	保護者と連携し、安易な遅刻・欠席をさせない指導を徹底する。				
			10分前登校を奨励し、授業に落ち着いた状態で臨ませる。				
			部活動への積極的加入の奨励と、加入した生徒に対する支援を行う。				
			ルールやモラルの遵守指導により規範意識の高揚と問題行動の防止を図る。				
		多面的な進路観の醸成	ポスターセッション等を通して、言語活動を充実させる。				
			文理選択に向けて、進路適性検査等を参考にして適切な情報提供を行う。				
			県内に限らず、全国を視野に入れた多角的な進路指導を行う。				
			校外模試結果の適切な分析と、データに基づく効果的な指導を行う。				
	２学年	学校の中核としての自覚・意識・行動の育成	基本的生活習慣の確立を計り、安易な遅刻欠席をさせない指導をする。				
			部活動・学校行事への積極的参加を促し、中核である意識を向上させる。				
			活力あふれる活動の推進とリーダーシップの育成を図る。				
			人権意識の涵養。生徒相互、生徒・教員間の信頼関係の構築。				
		広い視野に立った進路意識の育成と相互理解	高い志を持った進路意識の喚起を行い、進路目標を設定させる。				
			授業を充実させ、基礎基本の定着を図る。				
			授業により基礎基本の定着を図るとともに、課題解決能力を向上させる。				
			課題研究、ディスカッション及びプレゼン等により、言語活動を充実させる。				
	３学年	基本的生活習慣の確立と進路実現に向けた学力の向上	時間厳守、整理整頓、挨拶を励行する。				
			リーダーシップを発揮させ、帰属意識の高揚と社会性の充実を図る。				
			予習・復習を中心に家庭学習の充実を図り、朝読書等により言語活動を充実させる。				
		進路目標に応じた適切な進路指導と生徒・保護者との信頼関係の構築	カウンセリングマインドに基づく生徒理解につとめ、レジリエンス（回復力）を増進させる。				
			強い意志と高い志を持ち、労を厭わず物事に丁寧に対処する生徒を育成する。				
			自らの可能性を最大限に引き出す主体性と自己肯定感を醸成する。				
			高い人権意識、他者を敬う心、感謝の心を持つ生徒を育成する。				